



「スポーツニュース」の
ダウンロードはこちらから

ISPO スポーツ★ニュース

SPORTS
NEWS
Vol.168

2025年9月16日発行



新体操少年女子団体が演技する東京チーム



成年男子高飛込で
演技を行う玉井選手



アーティスティックスイミングのフリールーティンで
演技する大塚選手

国スポ、滋賀で 会期前競技始まる 本大会は28日から

第79回国民スポーツ大会（わたしのSHIGA）が、滋賀県草津市のインフロンティア草津アクアティクスセンターなどで、会期前競技（1回目）の水泳、体操、ビーチバレーボールの3競技を実施した。滋賀県では、1981年の「びわこ国体」以来、44年ぶり2度目の開催となる。成年男子高飛込は昨夏のパリ五輪銀メダルの玉井選手が制した。

開会式は28日、彦根総合スポーツ公園陸上競技場で開催され、10月8日まで滋賀県各地などで熱戦が繰り広げられる。



男女混合4×400メートルリレー決勝、井戸選手（左端）にバトンをつなぐ第1走者の吉津拓歩選手（左から2人目）



男子35キロ競歩、3位で
ゴールする勝木選手



男子棒高跳び決勝、6メートル30の跳躍を成功させ、
自身の持つ世界記録を更新したデュランティス選手

世界陸上、34年ぶり東京で開催 競歩で勝木選手銅、混合リレー入賞

陸上の世界選手権東京大会が、13日から21日まで東京・国立競技場で開催。東京は1991年以来34年ぶり、日本では2007年大阪大会に続き3度目の開催となった。男子35キロ競歩で勝木隼人選手が自身初メダルとなる銅を獲得し、今大会の日本勢のメダル第1号。世界のトップは想像以上に強かった。メダルを取ってほっとしていると安堵の表情。

19年ドーハ大会から採用された男女混合4×400メートルリレーでは8位に入り、初入賞。予選では日本新記録をマーク。井戸アビゲイル風果選手は「まだまだだと思った。またチャレンジしたい」と語った。

男子棒高跳びでアルマント・デュランティス選手が6メートル30の世界新記録を樹立し、3連覇を遂げた。



JSPNスポーツニュース 第168号
2025年9月16日発行
（次回は2025年10月14日発行予定）
JSPNニュースは、スポーツ振興くじの収益を寄付して制作・放送しています。

企画：JSPN（公益財団法人日本スポーツ協会）
https://www.japan-sports.or.jp/
監修：時事通信社
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目15番8号 電話03(3524)6944



本紙面が日本スポーツ協会ホームページ内の「JSPNスポーツニュース」で見られます

日本スポーツ協会

検索

日本スポーツ協会ホームページTOPページ

PUBLISH[一覧はこちら]

JSPNスポーツニュース

で見たニュースを見つけてね！

